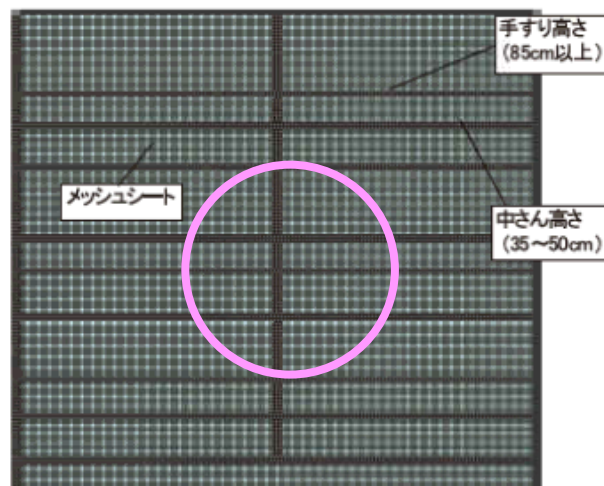
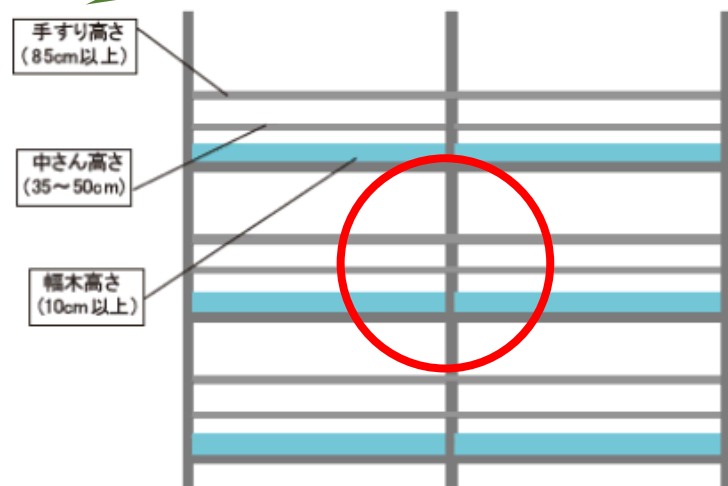


いわき労働基準監督署 署長パトロール実施中

違法な足場は危険！今すぐ改修を

手すり(高さ 85cm 以上の位置)
+ 中さん(高さ 35~50cm の位置)
+ 幅木(高さ 10cm 以上)

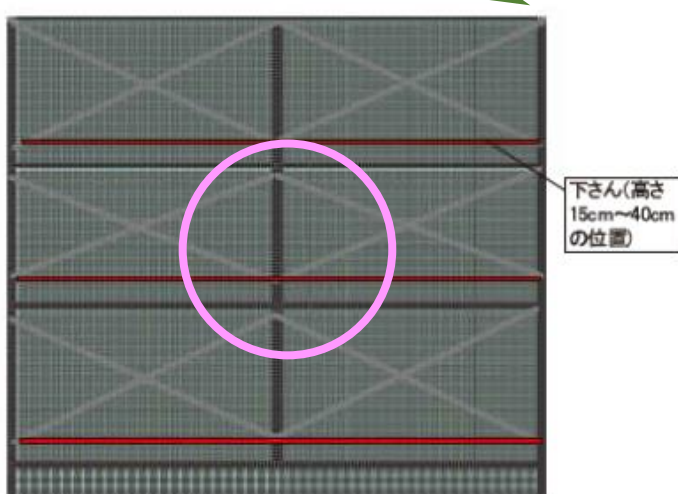
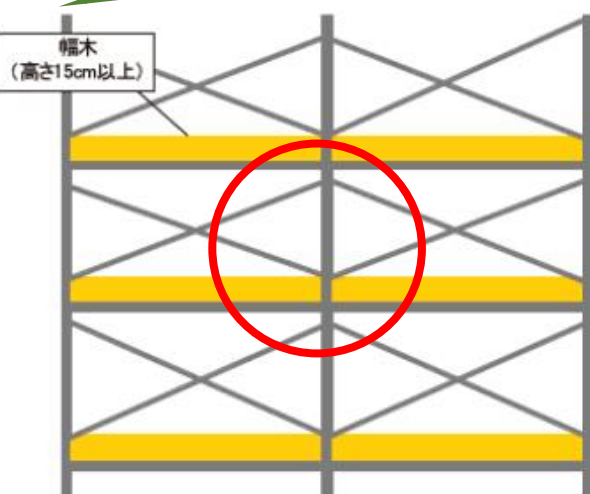
手すり(高さ 85cm 以上の位置)
+ 中さん(高さ 35~50cm の位置)
+ メッシュシート



ネットと手すり1本では足りません！必ず中さんを入れましょう

交さ筋かい+幅木(高さ 15cm 以上)

交さ筋かい+下さん(高さ 15~40cm
の位置)+メッシュシート



いわき労働基準監督署長からひとこと
代表者様・安全担当者様

大切な職人さんの生命と身体を守りましょう

適法・安全な足場と、保護帽や墜落制止用器具の使用をお願いします！

施主様には、現場の労災事故防止のため、ご理解とご協力をお願いします！

いわき労働基準協会ホームページ「労基署通信」で最新情報を発信しています

検索 **いわき労働基準協会**

- ◎ 資料等、自由にご利用ください
- ◎ 記事の要望や感想をお待ちしています！
(いわき労働基準協会までお寄せください)

署長室よりいわきAliosを望む (R04年8月撮影)

速報 足場からの墜落災害が発生！

足場作業中、手すりのすき間から墜落

いわき市内の住宅外壁塗装工事現場において、足場上で作業中、手すりと作業床とのすき間から約6メートル墜落し、頭部や腰背部等に重傷を負った。

足場は単管、くさび足場で外部にネットが張られていたが、手すりは作業床から約1mの高さの個所に1本設けられているだけで、労働安全衛生法で定められた「中さん」は設けられていなかった。

また災害発生時、被災者は保護帽を着用していたが、飛来・落下物保護用のもので墜落時保護用ではなかった。また6メートル以上の場所で作業していたにもかかわらず、墜落制止用器具（フルハーネス等）は使用していなかった。



イメージ図
(職場のあんぜんサイトから引用)

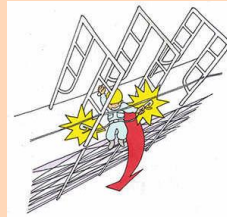
足場からの墜落災害が発生！

足場組立て中、手すりのない個所から墜落

いわき市内の住宅建築工事現場において、足場の組み立て作業中、足場に段差があったためバランスを崩し墜落、重傷を負った。

墜落制止用器具を使っていなかった
(労働安全衛生規則第564条)

危険予知活動において墜落の危険性の
リスク見積もりと対策を行わなかった



イメージ図
(職場のあんぜんサイトから引用)

住宅建築工事で技能実習生が梁から墜落 墜落防止ネットの不備

いわき市内の木造低層住宅の建築工事現場において、外国人技能実習生が作業中、梁上から墜落し負傷しました。

現場には足場と墜落防止用ネットが設けられていましたが、被災者はネットが掛けられていない箇所から墜落したものです。



イメージ図
(職場のあんぜんサイトから引用)

店舗建築工事で鉄骨梁から墜落 墜落防止ネットを取り外して作業

いわき市内の店舗新築工事現場において、作業中に鉄骨梁上から墜落、負傷する災害が発生しました。

現場には親綱と墜落防止用ネットが設けられていましたが、被災者は着用していた墜落制止用器具を親綱に掛けずに作業を行っていました。

さらに、墜落防止ネットを一部取り外し、梁から身を乗り出して鉄骨の錆止剤を塗布する作業中に、ネットの隙間から墜落したものです。



イメージ図
(職場のあんぜんサイトから引用)

危険予知活動がきちんと行われていたのか？

フルハーネスを着けていても使わなければ意味がありません！